

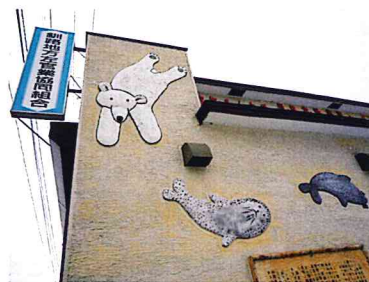
日左連「左官工事PR」「会員増強」「次世代の育成」 貢献者に対する表彰

左官工事PR（団体）部門

釧路地方左官業協同組合
理事長 藤澤 亀三

釧路地方左官業協同組合は、以前より左官技術を広く一般の方々に知っていただくため、継続的に市の施設等に奉仕活動を行ってきました。

平成22年度には、釧路市動物園内に休憩用の椅子や獣舎横に展示動物をかたどったモニュメントを、殺風景だった管理事務所の入り口には「擬木の花壇」を作成設置しました。



特に、椅子に腰掛けている大きなふくろうと木を模したデザインのベンチは「ふくろうの森」前に設置され、動物園の来園者の人気の記念撮影スポットとなっています。

平成23年度には、前年度に引き続いてのモニュメントの寄贈、更に左官技術を市民へアピールするため、組合事務所正面にはなまこ壁と「風雪百年」の文字を、幹線道路沿いの壁面には、松の木や動物たち、そして動物園までの距離を立体的に表現しました。

左官の伝統工法である「鏝絵」と現代工法を融合させ、セメント・砂・色粉を使って細部まで丁寧に仕上げたこの壁に対しては市民からの反響も大きく、新聞をはじめとする各報道機関や北海道中小企業団体中央会・北左連の冊子でも紹介されました。



さらに、昨年10月に台北市立動物園で行われた釧路のタンチョウ鶴公開に合わせて釧路から訪問団が台湾を訪れた際には、釧路市動物園の協力を頂きながら鏝の技術で制作したタンチョウのひなの模型を寄贈。釧路市長の手により、台北市立動物園と台北市政府教育局に贈られ、この話題も新聞に大きく掲載されました。

私たち釧路地方左官業協同組合、会員一同は、これからも様々な形で地域に貢献し、左官技術を広くPRしていきたいと思っています。



日左連「左官工事PR」「会員増強」「次世代の育成」 貢献者に対する表彰

次世代の育成（団体）部門

宮城県左官工業組合連合会

会長 千葉正勝

次世代の育成にマンガでガイド

どんな時代でも若者の集まる業種は廃れない。左官業はどうだろうか。世の中の発展とともに、建築業に対する市民の見方は、危険・汚い・格好悪いと毛嫌いされてきた。なかんずく左官職は、難しい技術を必要とされることから、若者から敬遠されがちである。このままでいいのか？なんとか人集めに取り組まなければならない。

宮城県左官工業組合連合会では、切迫感を持って若年労働者育成に向かうことにしました。以前から求人ガイドブックは作成していたが、もっとインパクトのあるものと考え、若者が『サラリ』と手に取り、『スー』と引きこまれ、『キューン』と胸を熱くする媒体はないだろうか。“そうだ！マンガで引き込もう”との結論に達しました。

組合会員の中から若者、そしてベテランのマンガ愛好者を募り、マンガ編纂委員会を発足させ、ストーリーを考案しました。サッカー部の高校生が、とある街角の新築現場で黙々と働く左官職人の後ろ姿に魅せられ、左官職を目指す。単純明快なストーリーは3分間で読み切れる。作者自身がワクワクすれば読者も必ず引き込まれるだろう。そんな気持ちで発刊しました。出来栄に必ずしも満足しているわけではないが、若者を入りたい情熱は伝わるものと確信しております。

（一社）日本左官業組合連合会の会員皆さま、左官屋の熱い情熱を次世代の若者に伝えようではありませんか。

